

建設部門 都市及び地方計画

【設問III】次の2問題（III-1、III-2）のうち1問題を選び解答せよ。（解答問題番号を明記し、答案用紙3枚以内にまとめよ。）

年次	III-1	III-2
H30	<p>空き地・空き家等の低未利用地が時間的・空間的にランダムに発生する「都市のスポンジ化」が進行している都市において、あなたが担当責任者として立地適正化計画を策定し、コンパクトシティの推進を図ることとなった。以下の問い合わせ答えよ。</p> <p>(1) 都市のスポンジ化が進む背景とそのような地域が持つ課題について述べよ。</p> <p>(2) 立地適正化計画において定めようとする都市機能誘導区域及び居住誘導区域内でスポンジ化が進行している場合、計画を実現するために必要となる取組について複数提案せよ。</p> <p>(3) (2)で述べた取組を実施するに当たって考慮すべき事項と対応方策を述べよ。</p>	<p>大規模な市街地火災が発生した人口減少・少子高齢化の進む人口数万人の地方都市において、あなたが都市計画・まちづくりの担当責任者として、被災地の復興まちづくり計画を策定することとなった。以下の問い合わせ答えよ。</p> <p>(1) 復興まちづくり計画を策定する上で検討すべきまちづくり上の課題を述べよ。</p> <p>(2) (1)で述べた課題を解決するために必要となる具体的な方策を述べよ。</p> <p>(3) (2)で述べた方策を実施する上で、想定される負の側面との対応方策を述べよ。</p>
H29	<p>人口減少と高齢化の進む地方都市において、コンパクトなまちづくりを進めるため、立地適正化計画を策定することになった。当該地方都市は、鉄道・バス等の公共交通は整備されているものの、車への依存度が高く、また、近年合併したことから、類似・重複した公共施設を多く保有している。あなたが担当責任者として計画策定を行うに当たり、以下の問い合わせ答えよ。</p> <p>(1) 当該地方都市の現状から想定される課題を述べた上で、計画における目指すべき将来都市像を述べよ。</p> <p>(2) (1)で述べた課題を解決し将来都市像を実現する上で、計画において設定することが適當と考える定量的な目標（具体的な数値は不要。）を2つ挙げ、これらを実現するために必要と考えられる方策を述べよ。</p> <p>(3) (2)で述べた方策を実施する上で、想定される負の側面と対応方策を述べよ。</p>	<p>緑とオープンスペースの確保が課題となっている三大都市圏の都市において、あなたが都市計画・まちづくりの担当責任者として、市街化区域内農地の保全及び活用に取り組むに当たり、以下の問い合わせ答えよ。</p> <p>(1) 市街化区域内農地の保全及び活用が求められる背景と、それに取り組むことによる効果について述べよ。</p> <p>(2) (1)を踏まえてまちづくりを進める上で、市街化区域内農地を保全及び活用するための具体的な方策について複数提案せよ。</p> <p>(3) (2)で述べた方策を実施する上で、想定される負の側面と対応方策を述べよ。</p>
H28	<p>健康寿命の延伸が課題となっている地方都市において、あなたが都市計画・まちづくりの担当責任者の立場で、関係部局と連携のもと立地適正化計画を作成し、都市のコンパクト化に取り組むことになった。以下の問い合わせ答えよ。</p> <p>(1) 都市計画・まちづくりを担う立場において、健康寿命の延伸の視点から都市のコンパクト化に取り組むことの意義と、計画作成に当たり検討すべき項目を述べよ。</p> <p>(2) 上述の意義を踏まえて、公共交通利便性の高い都市の中心部における、他の関係部局と連携した取組のうち、あなたが特に重要と考える取組について複数提案せよ。</p> <p>(3) あなたが提案する取組の実施に伴い、都市の中心部から離れた居住誘導区域内の居住者への対応として、考慮すべき事項と対応方策について述べよ。</p>	<p>近年、空き家の増加により、都市において様々な課題が顕在化しつつあり、空き家対策を行っていくことが求められている。人口減少が進む地方都市で、あなたが担当責任者として総合的な空き家対策を検討するものとして、以下の問い合わせ答えよ。</p> <p>(1) 空き家の増加により顕在化している又は顕在化が見込まれる課題を複数説明せよ。</p> <p>(2) 上記の課題に対して、必要となる方策を具体的に説明せよ。</p> <p>(3) 上述の方策の実行に際し、想定される負の側面とその対応の方向性を具体的かつ多面的に述べよ。</p>

年次	III-1	III-2
H27	<p>人口減少・高齢化の進む地方都市において、社会経済状況の変化に対応するとともに、持続可能な都市経営の実現を図るため、あなたが担当責任者として、当該都市全体としての都市施設の整備に関する事業又は市街地の整備に関する事業の見直しを検討するものとして、以下の問いに答えよ。</p> <p>(1) 見直しの対象とする事業を想定し、その見直しを検討しなければならない背景を説明せよ。</p> <p>(2) 上述した背景に対応して、事業の見直しの方策を具体的に提案せよ。</p> <p>(3) 事業の見直しによって生じ得る負の側面について説明し、その対応方策を論述せよ。</p>	<p>人口減少・高齢化が進む地方都市において、あなたが担当責任者の立場で都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行うものとして、以下の問いに答えよ。</p> <p>(1) 居住誘導区域の設定において、区域の規模やその広がりを検討する際に、検討すべき項目とその内容を述べよ。</p> <p>(2) 行政における人的・財政的な制約の高まりを踏まえ、居住誘導区域外の地域からの効果的な居住誘導を進めるための方策について複数提案せよ。</p> <p>(3) 上述の方策の実施に伴い、居住誘導区域外の地域への対応として、考慮すべ事項と対応方策について述べよ。</p>
H26	<p>本格的な人口減少・少子高齢化が顕在化しつつある地方都市における、都市の再構築に関し、以下の問いに答えよ。</p> <p>(1) 持続可能な都市経営の確保に向け想定される課題を述べよ。</p> <p>(2) 課題に対する基本的な解決の方策を都市構造のあり方に着目して述べよ。</p> <p>(3) 解決の方策の実行に際し、想定される負の側面と対応の方向性を具体的かつ多面的に述べよ。</p>	<p>津波により相当数の住宅、公共施設等が滅失した市街地において、あなたが担当責任者として住宅再建を含めた市町村の復興まちづくりに係る事業に取り組むものとして、以下の問いに答えよ。なお、解答に当たっては、東日本大震災の津波により被災した市街地と同じ制度が適用されること、比較的頻度の高い一定程度の津波を想定した海岸保全施設等の計画・整備が別に進められていることを前提とする。</p> <p>(1) 実施すべき事業とその意義について説明せよ。</p> <p>(2) 市街地の復興を早期に進めるに当たってあなたが重要と考える課題を述べ、事業の進め方を提案せよ。</p> <p>(3) 提案した進め方で事業を進めていくに当たってのリスクとその対応方法を述べよ。</p>
H25	<p>東南海・南海地震など、全国で大きな地震の発生が想定されているが、中央防災会議においては、地震・津波に強いまちづくりの方向性が打ち出され、津波防災地域づくりに関する法律も制定されている。これらを踏まえて、都市部において、津波による被害に関するまちづくり上の対応策を検討するに当たり、必要な海岸保全施設等が整備されることを前提に、都市及び地方計画の技術士として以下の問いに答えよ。</p> <p>(1) 津波に強い都市とするために検討しなければならない課題を多面的な視点から述べよ。</p> <p>(2) 上記(1)の課題に対する総合的な解決策を述べよ。</p> <p>(3) 解決策を実現するに当たっての問題点と対応の考え方を述べよ。</p>	<p>人口20万人程度の地方都市において、「都市の低炭素化の促進に関する法律」に基づく低炭素まちづくり計画を策定するに当たり、以下の問いに答えよ。</p> <p>(1) 具体的な都市を想定し、その特性を述べた上で、それを踏まえた当該都市の低炭素まちづくり計画における目標すべき将来都市像を述べよ。</p> <p>(2) 次の①～④の分野かた2つ選び、分野ごとに、(1)の低炭素まちづくり計画の将来都市像を実現するための具体的方策を提案し、その方策の実施により生じうる負の影響又は不覚的な要素による問題と、それへの対処方法について述べよ。</p> <p>①都市機能の集約化 ②公共交通機関の利用促進 ③建築物の低炭素化の促進 ④緑地の保全及び緑化の推進</p>